あなたをひとりにしない・させない！ mamapapaline

ママパパラインちば2022

年次報告書

Ⓡ 2008年3月商標登録

2022年4月～2023年3月

母親が、子育ての辛さや苦しさ、不安、イライラ、怒りが爆発しそうな自分を訴える声は常時あります。今年度は父親としてまたは夫から妻へ、育児の方針や妻とのコミュニケーションの取り方、関係づくりの悩みや戸惑いの声が寄せられました。生活スタイルの変化と、時代を反映するかのような父親の声も受け止める、まさに「ママパパライン」になりました。かけ手に寄り添い、丸ごと受け止めて、やさしいあいづちや、適切な問いかけにより、かけ手の気持ちが整理されて落ち着いていく変化を感じました。養育者自身の自立と問題解決の促しにつながるよう、厳しい内容であればあるほど「聴く」ことを大事にしています。受け手ボランティアの市民性が高く、研鑽を積み重ね、謙虚さと誇りを持って受けることができました。

☎　2022年４月～2023年３月までに受けた件数
　250件（平均通話時間　３７分）※昨年271件

☎　受け手研修会実績：８回・２０時間

☎　広報周知実績

アドカード230,000枚　ポスター4,500枚を当事者や社会に届けた。

54市町村の子育て支援課を通じて、当事者に配布

54市町村教育委員会を通じて小学校750校の１年生と一部全校児童に配布

千葉県小児科医会　千葉県歯科医師会　市町村社会福祉協議会　千葉市幼稚園協会、子育て支援NPO等にポスター掲示・カード配布

☎マスコミ掲載

・東京新聞・ウキウキ・北総よみうり佐倉よみうりハ千代よみうり統合版・浦安新聞・行徳新聞・いちかわ新聞　・地域新聞県内16版・船橋よみうり・朝日れすか

☎千葉県の虐待防止マニュアル及び「あなたのこころ元気ですか？」に掲載

☎県内市町村の子育て冊子・WEB掲載

市川市　船橋市　佐倉市　君津市　横芝光町　木更津市　八千代市　南房総市　富津市　鋸南町　柏市　成田市　多古町　浦安市　茂原市　長生村　柏市「はぐはぐ柏」　船橋市「ふなっこナビ」　市川市「市川っ子WEB」
ＨＰアップ（年間）

ママパパラインちば　アドカード

ママパパライン QRコード

特定非営利活動法人　子ども劇場千葉県センター
〒260-0031　千葉市中央区新千葉2-17-6 サンコート新千葉102号
TEL：043-301-7262　FAX：043-301-7263
E-mail：kidchiba@lily.ocn.ne.jp　ＵＲＬ　http s://chiba.gekijou.org/

ママパパラインは・・・ママ・パパたちの子育てを応援するために開設しています

☆ママ・パパたちのブルーな気持、悩み、とまどい、不安、喜び等、何でもお聴きする専用電話です

☆電話をお聴きするのは、子育てを経験したフツーのお母さんです。研修を積み専門性をもった傾聴ボランティアです。

☆ありのままのママ・パパの気持ちを受けとめ、何でも言いやすい雰囲気を心がけています

☆かけ手は名前は言わなくていいし、途中で切りたくなったら切ってもいい電話です

☆もちろんプライバシーは守ります

☆電話だからこそ話せることがあります。気軽にダイヤルしてください

■「ママパパラインちば」を支える賛助金をお願いしています。

●賛助期間

【賛助の期間は1年とし、4月から翌年の3月までといたします。　継続時期が近づきましたら連絡いたします。】

●ラインの最小限の基本的な運営のために使用します。

（電話基本料金　周知のためのカード・ポスター作成費　　研修費）

●賛助金は、**１口　2，000円（何口でも可）**

●　振込先

郵便振替　口座番号００１５０－９－４１５１９２

加入者名：子ども劇場千葉県センター

「ママパパラインちば」は、助成金・寄付等で運営しています。

ママやパパたちが、気軽に安心して話せる場として、また、誰にもいえなかった胸の内や、押し込めていた気持ちを吐き出す場として、ゆっくりと時間をかけてお聴きしています。

子育ての悩みや不安は尽きることはありませんが、少しでも肩の荷物を軽くするお手伝いができること、民間で、傾聴等の専門性をもつ受け手ボランティアが、普通の感覚で聴くラインを特徴としている「ママパパラインちば」を、ご支援いただきますようお願いいたします。

お問合せ・申し込みは、子ども劇場千葉県センターまで

「ママパパラインちば」では、電話を受ける受け手ボランティアや大量のカード仕分けや発送などのお手伝いをいただくボランティアを募集しています。

ボランティアのご希望があった場合は、まず直接お会いする機会をもって説明し、お話しをお聴きして齟齬がおきないよう、オリエンテーションも入れた丁寧な対応をさせていただきます。

今年度のアドカードは、千葉県赤い羽根共同募金助成金により作成しました。

不許複製

◆1 年間の事業概要【2022 年 4 月～2023 年 3 月】

2022 年 4 月 1 日（金）～2023 年 3 月 25 日（金）　10:00～16:00
開設日：55　日(毎週金曜日常設 49 日　キャンペーン 6 日)

相談件数:　250 件　総通話時間 9,015 分　1 件平均通話時間:　37 分
体制：受け手:20 名　支え手:20 名　スタッフ:7 名　アドバイザー：4 名　　連携機関：4 か所
年間後援：千葉県
キャンペーン後援：厚生労働省　千葉県　千葉市　(社)千葉県医師会　千葉県小児科医会　千葉県歯科医師会　(社福)千葉県社会福祉協議会　千葉県保育協議会　　朝日新聞社千葉総局　読売新聞千葉支局　毎日新聞千葉支局　東京新聞千葉支局　千葉日報社　NHK 千葉放送局

	相談件数合計	内、午前中	かけ手					子どもの年齢（わかる範囲）						
			母親	父親	祖母	祖父	その他	0 歳	1 歳	2 歳	3～未就学	小学生	中学生	高校生以上
合計	**250**	**104**	**230**	**6**	**6**	**1**	**7**	**18**	**19**	**16**	**88**	**105**	**43**	**15**
100%		42%	92%	2%	2%	0%	4%	6%	6%	5%	29%	35%	14%	5%

	相談内容の分類(複数選択)												所用時間(分)	平均時間(分)
	子ども						本人	夫(妻)との関係	舅姑	家族	地域・行政	その他		
	しつけ	発育(達)	健康	教育	食事	生活								
合計	**17**	**21**	**5**	**40**	**3**	**54**	**114**	**23**	**3**	**10**	**8**	**13**	**9,015**	**37**
100%	5%	7%	2%	13%	1%	17%	37%	7%	1%	3%	3%	4%		

◆目的　＜子ども(乳幼児～小・中学生)を持つ親・養育者の子育てを応援します＞

共感的に聴く専用電話の実施を通じ、子ども持つ親･家庭の子育ての悩みや不安に耳をかたむけ、話を聴いてもらったり、受け止めてもらうことで安定した気持ちを取り戻し、養育者自らが、解決への力を取り戻し（レジリアンシー）新しい人間関係づくりや育児を前向きに楽しめるようにします。傾聴によるエンパワメントでもあり、虐待の未然防止としての効果も期待されています。

◆市民ボランティアによる垣根の低い民間の電話

電話を受けるのは一般市民の受け手ボランティアです。受け手が親身に温かく丁寧に話をお聴きし、気持ちに共感し受けとめます。アドバイスや指導をせず、気軽に話しやすい雰囲気を心がけています。受け手ボランティアは、年間 20 時間の傾聴や子育て支援に関する一定レベルの研修を受けています。

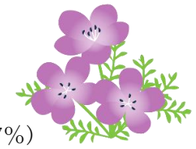
◆実績・経緯

2002 年、「ママパパライン」を東京で 2 月 22 日（金)～28 日(木)の 6 日間開設し、197 件の電話を受けました。その後、全国各地で常設化を進め、現在以下全国 7 箇所で開設しています。2008 年 3 月「ママパパライン」の商標登録取得。「ママパパラインちば」は 22 年の実績。

◆全国7か所のママパパライン

①ママパパラインほっかいどう　０８０－６０６２－４７３５　毎週月曜日　１３時～１６時
②ママパパライン仙台　０２２-７７３-９１４０　毎週金曜日　１０時～１６時
③ママパパラインふくしま　０２４２－８５－７８７８　毎月第１・３木曜日　１０時～１６時
④ママパパライン東京川の手　０３－３６３３－０４１５　毎月第１・３金曜日　１３時～１６時
⑤ママパパラインちば　０４３－２０４－９３９０　毎週金曜日　１０時～１６時
⑥ママパパラインあいち　０５２－２２８－７２８７　毎週月曜及び水曜日　１０時～１６時
⑦ママパパラインひょうご 078-945-8333　080-3866-8333　毎週第１水曜日　１０時～１４時

●電話の声からの傾向や特色（プライバシーに配慮し再構築しています）



相談件数は 250 件です。(昨年 271 件)　1 件 1 件に誠実に向き合ってお聴きしました。
今年度も 3 歳～小学生の子どもを持つ親からの電話が 193 件（64%）で一番多く、0 歳～2 歳児の親からも 53 件(17%)です。内容の分類については母親本人のことが 114 件(37%)と多く、夫・舅姑・家族との関係が 36 件(12%)です。
夫と妻の双方からの同様の不満や悩みを訴え、離婚や離婚調停の話などもあります。また、自分自身が精神的な病気をかかえた辛さや、発達障がいを持つ子どもとの日常生活で疲れ切っていること等、解決策や先の見えない不安をかかえた電話は、昨年にも増して増えていいます。コロナ禍が引き金になって起きた家庭や家族の変化が、孤立感を高め、思わず暴言をはいたり手を上げてしまった自分を悔いています。イライラや爆発そうな怒り、ストレスが声の背景に垣間見られ、「誰かに気持ちを言いたい・聴いてもらいたい」という思いが伝わってきます。

◆コロナ禍が緩和されても、心配が続いています。

孫がカラオケに誘われ、行ってしまった。今のコロナ状況を考えると行くべきではない。孫は断れないと言うし、娘（孫の母親）もあまり気にしていない。/　5 才の女の子の予防接種のことで悩んでいる。インフルエンザの時は毎年かなり腫れて 1 週間ぐらいイヤな思いが続くことになる。今回はコロナの予防接種のことで受けるか否か決めかねている。/高 3 の受験生の息子にコロナ（4 回目）とインフルエンザのワクチンを受けて欲しいが、本人は時間や余裕がないから受けたくないと言う。

◆乳幼児～中学生まで　子どもの日常生活や発達障がいの心配の電話が増えています。

10 か月の子必ず夜中に起きて大泣きする。ミルクを飲ませていいのか？育児でイライラしちゃうのは私だけ？/7 か月の子へのおしっこの回数が少ない。水分の与え方がすくなかったのか？/夜泣きが 1 か月半ぐらい前からひどくて 1 時間置きに授乳して寝不足になって疲れる/産まれて障害があることがわかった。目や耳に障害が在り、眼鏡や補聴器も使わなくてはならない、完治はしないと言われている。/2 才半の孫の言葉が遅いのが気になる。「はい！」は言うけど会話にならない。心配でしょうがない。/4 歳児、自分の思うようにならないと泣き続ける。日々の対応方法が知りたい。/言葉が遅く、発達障がいで療育施設に通っている。周りの人に知られたくない。/4 才の娘が手におえない状態で困っている。幼稚園にも行くのを嫌がる。食事も飲み物もとらない。母親を怒らせるように仕掛けてくる。/小２　自閉症 ADHD のグレーと言われている。音や臭いにも敏感でがまんできないと大暴れした。私は切れた。/

◆3 才～未就学前、小学生を持つ家庭からの電話は 193 件（65%）です。学校への行き渋りや子どもの友達関係、学校対応への不満　子どもの発達を心配する等、多岐にわたります。

5 才、友だちに何かされて手を出す（たたく）その場ですぐ“ごめんね”を言える子になってほしいような…。/4 才の年中が元気盛りで言うことをきかない。子どもに暴言を吐いてしまいあとで反省している。/担任が新任で不満。子どもも先生をなめている。/ 中 3、受験に失敗落ち込んでいる。思い込みがはげしくこれからの受験もあり、大丈夫か？気がめいっちゃった。/自然の中でのびのびと団体生活を体験させたくて 2 泊 3 日で春キャンプに行かせる。/6 才、2～3 か月前から親に怒られると自分の頭を自分でたたくようになった。抱きしめて大丈夫と言葉かけしては見るがしばらく続けるのでつらいし、悲しい。やめさせたいとは思うがどうすれば…。/

◆母親・父親共に孤立し、抱えている気持ちや感情を、誰かにそのまま吐き出せる場を求めています。

毎日散らかされてストレスがたまる。イラつく、面倒くさい。何もかもがイヤだ。感情のコントロールができない。/自己肯定感が下がって落ち込んで子育てが辛い。子育てに悩んでいる。幼稚園の先生に相談しても解決法がみつからない。/安倍さんのショッキングな事件を子ども達もネットで見た。今はどんなショックな場面も流れてしまう時代なので、いろいろ考えてしまう/いろいろあってシングルになった。自分はイライラして子どもを怒鳴ることがあって、通報された。/先はわからないし見えない。もう子どもといろんなやり取りをしたくない。イヤです。子どもがかわいくない。イヤになった。嫌いになった。/子どもが抱っこをせがんだがスルーしてしまった。すると機嫌が悪くなりさわぎだす。私も大きな声出したりたたいたりした。/イヤイヤ期。思い通りにならない。イライラする。家で 2 人きりの時冷たくあたってしまうことが多い。/子育て中の孤立が辛い。子どもに手を上げてしまったこともある。/妻が里帰り出産中。先日子どもが 3 才になるまで帰らない宣言された。どうしたら良いか。/妻との関係について顔をみたくない。一緒にいるのがつらい。/出産して実家から戻ってきたら妻が変わってしまった。自分の手伝うことすべてにダメ出し、我慢が重なりうつになりそうだったので通院/妻の顔を見るのもイヤ　いっしょにいるのもイヤ…と思う自分もイヤ。/夫婦のコミュニケーションがうまく取れない。妻がすぐけんかごしになる。どうしたら良いか。/5 才の娘の子育て、祖父母の介護を一人でがんばっている。/夫と別居中、生活費、児童手当をくれない。